

2013-2014 年度 東日本区
地域奉仕事業主任活動計画書

2013-2014 年度 地域奉仕事業主任 酒向裕司

テーマ「サステイナブル（持続可能な）活動に向けて」

近年、将来の環境や次世代の利益を損なわない範囲内で社会発展を進めようとする理念が普及しつつあり、サステイナブル社会という言葉が使われてきています。サステイナブル社会とは、少子高齢化、地球温暖化、環境問題などの簡単に解決できない問題に対して、中長期的な活動として、将来にわたって持続していくことが可能な社会を目指して活動することを意味しています。この理念をワイズの活動に当てはめると、地域奉仕事業についても YMCA やワイズが世代交代をしながら共に活動をしていくことの重要性が指摘できます。特に環境活動に対しては、粘り強く継続できる環境プログラムが望まれます。

I. YMCA サービス事業（強調月間 7 月）

ワイズメンズクラブは、YMCA を通して、地域社会に奉仕するサービスクラブです。つまり、YMCA への奉仕、支援はワイズメンズクラブの最も重要な目的です。

- ① YMCA とワイズメンズクラブの相互理解を深め、情報を共有する。（特に、YMCA 主事との連携を密接にしましょう）
- ② クラブの会員は、YMCA の会員になる。「東日本区定款第 3 条第 3 項の確認」
- ③ YMCA のスタッフに、ワイズメンズクラブをアピールする。
- ④ YMCA のプログラムを積極的にサポートする。
- ⑤ 東日本区大会（2014 年東京大会）に担当主事の参加をサポートする。担当主事会を開催する。

II. CS（Community Service）事業（強調月間 8 月）

YMCA と協力して、クラブの地域社会の求めに応える奉仕の実践に心がけましょう。また、その奉仕活動が YMCA とワイズの存在意義を示すプログラムとなるように心がけましょう。

- ① 1 クラブ 1 事業の推進。（地域へのアピール、他クラブへの参加・協力、他クラブとの協働）
- ② 新しい CS プログラムの開発を計ろう。
- ③ CS 資金一人当たり 1, 250 円の全クラブ達成に努める。〆切；2 月 15 日

III. ASF(Alexander Scholarship Fund) 事業（強調月間 7 月）

- ① YMCA スタッフを育てるための支援。特に地方 YMCA のスタッフの育成支援プログラム（YMCA 同盟ステップⅡ研修）の支援
- ② ASF 献金一人当たり目標 500 円以上。〆切；2 月 15 日

IV. ファミリーファスト(FF)運動（強調月間 11 月）

- ① 国際統一プログラムとして 2005 年から始まった UGP・STOP! HIV/AIDS 運動は、5 カ年をもって完了し、RBM に目標が変更されました。しかし、日本においてはその重要性に鑑み、FF 献金を STOP! HIV/AIDS 運動を継続する原資に充てています。
- ② FF 献金一人当たり目標 500 円以上。〆切；2 月 15 日

V. 継続事業、持続可能なプログラムの推進

各クラブで実践している地域奉仕事業、YMCA サービスの中で、長年にわたって継続している事業について教えてください。また今後も持続可能なプログラム、環境問題に関するプログラムについても教えてください。皆さんに紹介するとともに、内容や継続年数を勘案して表彰します。

募集期間：10 月（予定）